

事務事業チェックシート

事務事業No 524 事業名 雨水ポンプ場等運転管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	4	公共下水道事業・集落排水事業の適正管理

事業種別	継続	
事業期間	永年	
事業実施の根拠法令	下水道法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	岩崎 秀昭 (447-3331)
関連課	(中央終末処理場)	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業費特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
事項	雨水ポンプ場等運転管理事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 公共下水道区域内の浸水等を予防し、災害に強いまちづくりをめざす。	事業内容 各ポンプ場等の維持管理を行い、降雨時に最適な排水ができるよう整備する。 ■保守管理・・・緊急時に備えて定期的に巡回点検を行う。 点検内容としては、ポンプ、ディーゼル発動機等の機器点検や重油燃料の残量確認補給業務を行う。 ■運転管理・・・各ポンプ場等の緊急時における連絡体制や運転方法の確立。				
	実施内容	平成26年度 旭橋雨水ポンプ場 大門川雨水ポンプ場等 毛見雨水ポンプ場 杭ノ瀬第1調整池 中之島雨水ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	平成27年度 旭橋雨水ポンプ場 大門川雨水ポンプ場等 毛見雨水ポンプ場 杭ノ瀬第1調整池 中之島雨水ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	平成28年度 旭橋雨水ポンプ場 大門川雨水ポンプ場等 毛見雨水ポンプ場 杭ノ瀬第1調整池 中之島雨水ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	平成29年度 旭橋雨水ポンプ場 大門川雨水ポンプ場等 毛見雨水ポンプ場 杭ノ瀬第1調整池 中之島雨水ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	平成30年度 旭橋雨水ポンプ場 大門川雨水ポンプ場等 毛見雨水ポンプ場 杭ノ瀬第1調整池 中之島雨水ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	87,097	85,517	86,594	90,501	101,962	99,143	94,765		94,765	
伸び率 (%)	-	-	▲0.6%	5.8%	17.7%	9.5%	▲7.1%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	13,980	13,722	13,722	14,519	14,519	15,568	15,568		15,568
	正規職員以外	402	375	375	73	73	64	132		132
	小計	14,382	14,097	14,097	14,592	14,592	15,632	15,700		15,700
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	3	3	3	3	3	3	3		3	
一般財源 (税等)	87,094	85,514	86,591	90,498	101,959	99,140	94,762		94,762	
所要人数 (人)	正規職員	1.84	1.85	1.85	1.91	1.91	1.96	1.96		1.96
	正規職員以外	0.19	0.19	0.19	0.03	0.03	0.03	0.06		0.06
主な予算内訳	管理委託料 77,513千円 光熱水費 10,594千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	各ポンプ場(旭橋, 中之島雨水, 杭ノ瀬, 大門川調整池)等の巡回点検の実施 巡回点検施設4ヶ所×年間点検回数[回/年] (毛見雨水, 大門川雨水ポンプ場は運転要員が年間を通じて運転管理を行っている。)	回	208	251	208	255	208
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
		目標値					
成果指標	各ポンプ場(旭橋, 中之島雨水, 杭ノ瀬, 大門川, 毛見雨水)等の点検により発見及び修繕を行った件数	件		1		2	5
		達成度 (%)					
		目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>当市の場合、市民を水害から出来る限り守るには雨水ポンプ場等の運転は必要な事業である。最近、記録的な降雨強度が全国各地で起きており、市民のニーズは日々高くなっている。</p> <p>下水道部の計画により雨水ポンプ場等は建設されているため、当场（当課）では改善や見直し等は考えにくい。設備については現状維持であるが、保守管理については点検等の実施の中で、日々現在の状況(劣化や性能等)の把握に努める。運転管理についても、大雨時のポンプ稼動状況における不具合等の考察を行い、フィードバックすることを心がける。</p>
見直し・改善内容	<p>各ポンプ場の運転管理については、現状維持であるが、施設稼動状態の把握に努め設備の日常点検等を行い、計画的な修繕により延命化に努めていく。</p>